

舘 瑞恵

ケンブリッジ大学院実験真心理学科 博士課程

高齢者向自己防衛的防犯対策

この研究は、高齢者向防犯対策に関する研究の導入的かつ基礎的な研究である。

まず、高齢者に防犯に関する正しい知識を提供し、防犯意識を高めるための、高齢者に「優しい(わかりやすく覚えやすい)」防犯教育について考察した。実際に行われている交通安全教育を参考に、実施方法について検討し、また、防犯教育に必要なパンフレットや資料をデザインする上での留意点を、高齢者を含んだ人間の知覚的特性に関する説明を加えながらまとめた。

次に、高齢者をターゲットとした犯罪の捜査を円滑に行うために、高齢者から寄せられる目撃証言の妥当性について考察した。まず、意図的に作り出された偽の証言を見抜くための欺瞞の表出サインについて説明した。また、人間の認知の特性上生み出されてしまう情報の誤りに関して論じた。ここでは、人間の学習および記憶のメカニズムについて詳しく説明し、なぜ情報に誤りが生まれるのかを詳しく説明した。そしてそれらをふまえ、先行研究や脳研究を参考にしながら、高齢者の目撃証言の妥当性について考察した。

この研究が、今後の高齢者向防犯対策研究を発展させる上での手がかりとなることを願っている。